

* 第2分科会の趣旨説明

- (1) 基調講演及び新5カ年計画説明を通じて
フレイル予防事業の基本方針の理解と共有化が
図れたと考えます。
- (2) 本分科会では、全国4協議会のフレイル
予防に対する多様な取組事例の発表を通じて
その特徴とノウハウなどを学ぶ機会とします。
- (3) 一方で、協議会の取組みが難しいケースも
現れており問題・課題などにつき情報交換を
通じて対応方法などを議論する機会とします。

フレイルチェック事業の全国展開に向けた体系

東京大学 高齢社会総合
研究機構教授 飯島勝矢監修

健康・生きがい開発財団

県域～全国域 フレイルトレーナー養成システムの体系づくり

フレイルトレーナーの活躍記録

フレイルトレーナー養成研修システムの構築

- フレイルトレーナーの登録業務
登録フレイルトレーナーを対象とした**全国**フレイルトレーナー
連絡会の設立（構想）。
フローアップ研修（最新情報の共有、スキルアップ）

- フレイルトレーナーの養成業務
県或は市区町村からの財団への委託による
フレイルトレーナー養成（研修資料、機材等の
供給と研修スケジュール等の相談）

市区町村域 フレイルトレーナーによるフレイルサポーター養成システムの体系

フレイルサポーターの活躍記録

フレイルチェックの自治体への導入支援

- フレイルサポーター登録業務（構想）
登録フレイルサポーターを対象とした**地域**フレイルサポーター
連絡会の設立支援
地域フローアップ研修（最新情報の共有、スキルアップ）

- フレイルサポーターの養成業務
財団登録フレイルトレーナーの派遣と地域協議会によ
るフレイルサポーター養成支援業務

フレイルデータシステムの体系

市町村でのフレイルチェック記録

フレイルデータの一元的管理システムの導入

2018/11/30

- フレイルデータの市民、市区町村へのフィードバック

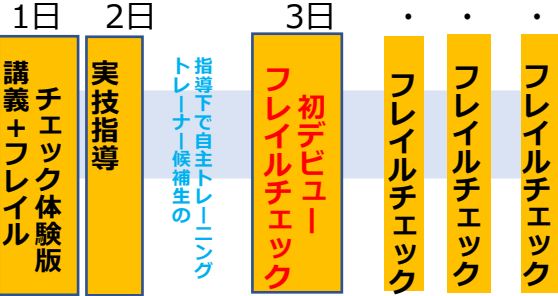
- フレイルデータの管理システムの構築

フレイルトレーナー・サポーター養成研修の体系

フレイルトレーナー・サポーター養成研修の流れ

(1) 東大指導による
フレイルトレーナー候補
(1~3名) &
フレイルサポーター養成
研修 (15名~)
(サポーター1期生)

フレイルトレーナー候補
によるフレイルチェックの
実施 (練度を高める)



サポーター自主練習 (座学復習、測定技術向上)

半年
~1年

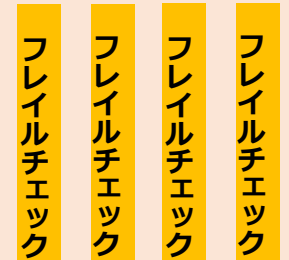
(2) トレーナー候補生による
フレイルサポーター
養成研修 (15名~)
(サポーター2期生)



(3)(4) トレーナー候補生に
よるフレイルチェック
フレイルトレーナーが見本を
見せ、助言しながらサポ
ーターを中心に運営をさせる。
(サポーター1期生、2期
生の混成チーム対象)



(5) フレイルサポーター
リーダーによる
フレイルチェック
(サポーター1第1期生と
第2期生を混成チームでフ
レイルチェックを継続開催)



(1) ~ (4) の課程を経て (5) のステップを踏むと、正式に認定となる

フレイルトレーナー、サポーターの関係

フレイルトレーナー
(サポーター養成)

フレイルサポーター
(フレイルチェック)

市民、区民、町民
2018/11/30

研修時の主な測定機材



体組成計 握力計 鍵口くん



メジャー 一般電卓 法人

研修時の主なテキスト



フレイルトレーナー養成テキスト 開発
フレイルサポーター養成テキスト
フレイル予防ハンドブック

主な記録紙

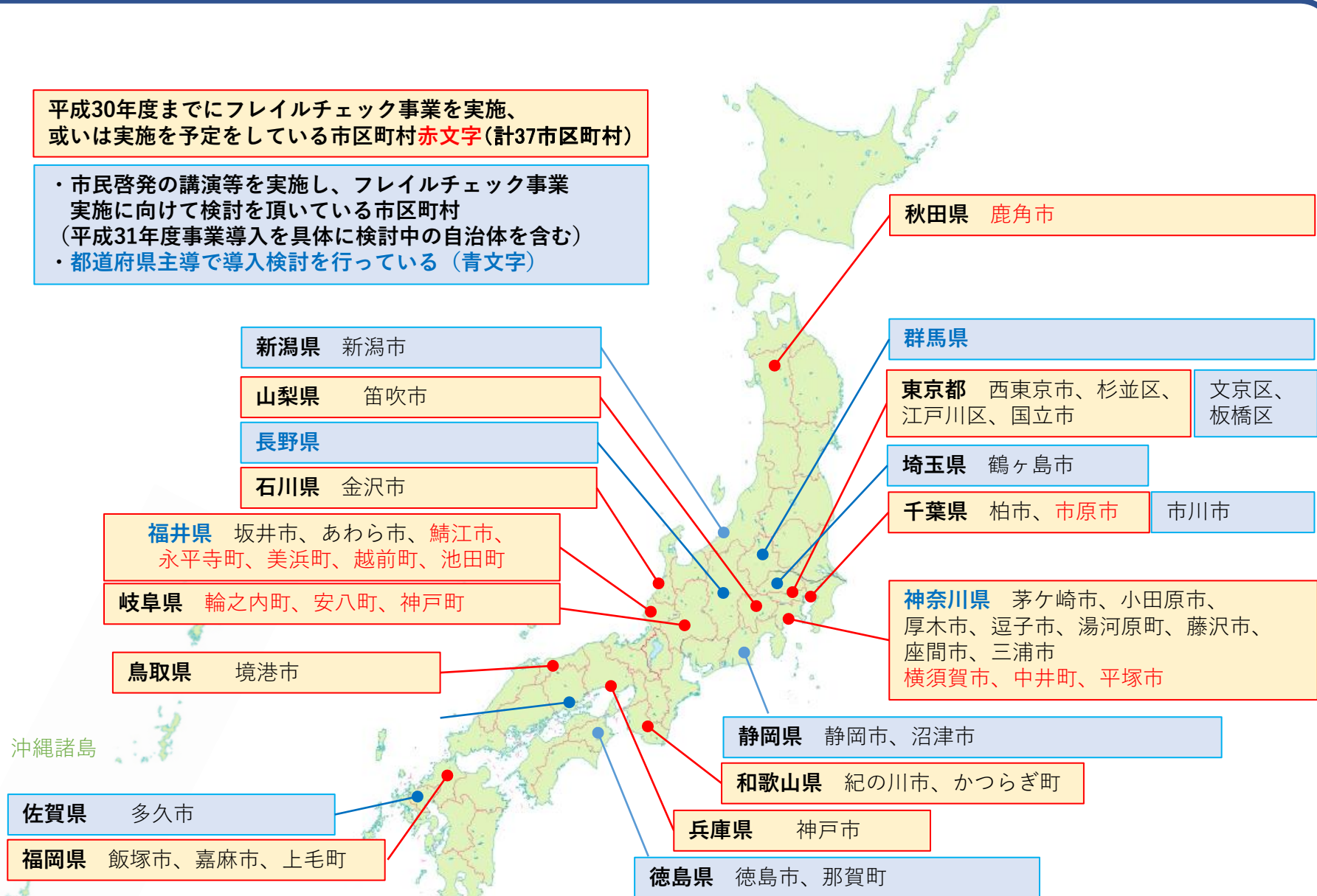


*～フレイルチェック事業の全国展開へ～

平成30年10月1日

平成30年度までにフレイルチェック事業を実施、
 あるいは実施を予定をしている市区町村 **赤文字** (計37市区町村)

- ・市民啓発の講演等を実施し、フレイルチェック事業実施に向けて検討を頂いている市区町村 (平成31年度事業導入を具体的に検討中の自治体を含む)
- ・都道府県主導で導入検討を行っている (青文字)



沖縄諸島

2018/11/30

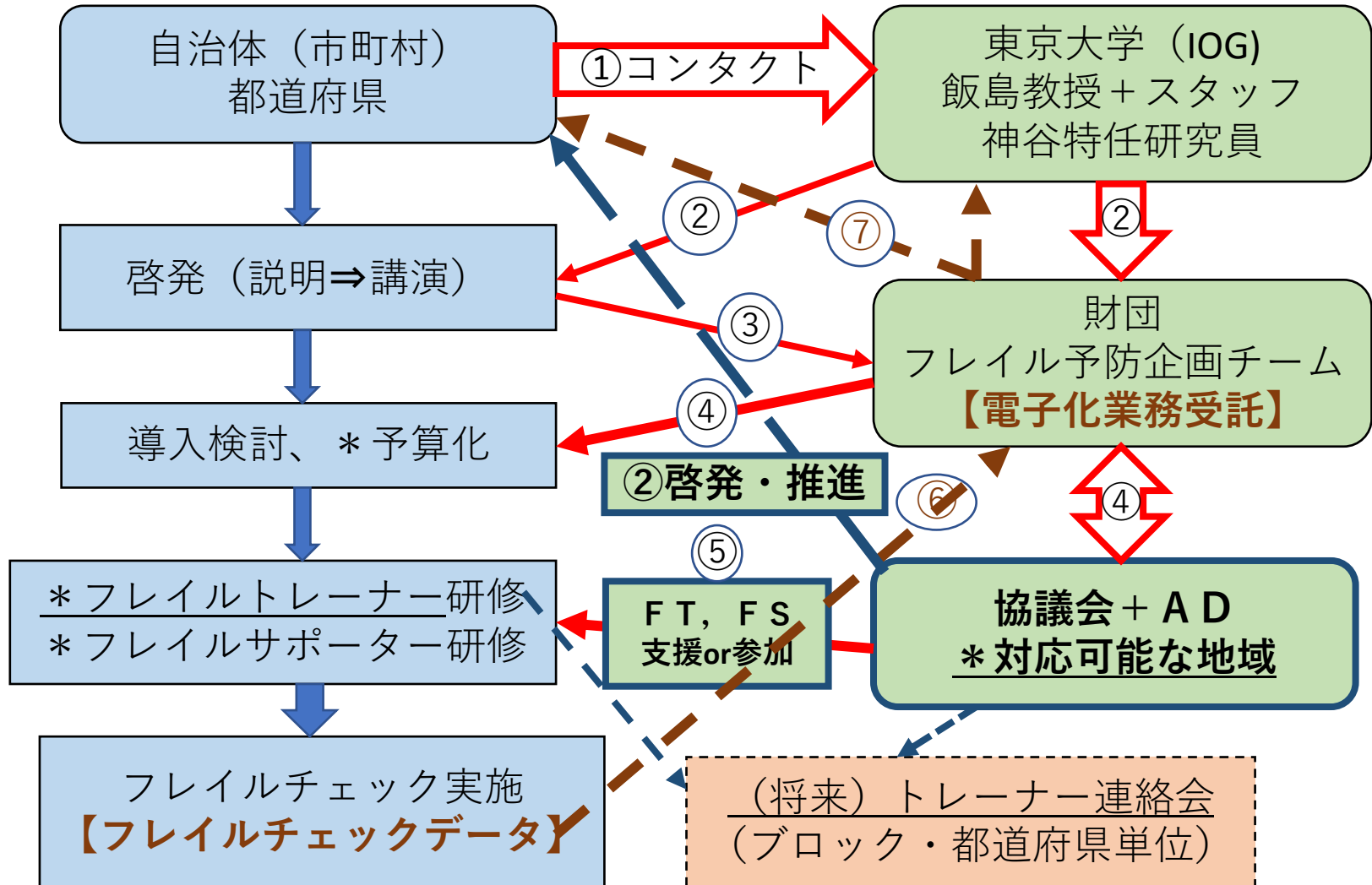
一般財団法人 健康・生きがい開発財団

* (参考) フレイルチェック実施の各種パターン

| | 都道府県 市区町村 | 財団 | 協議会 | AD |
|--------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------|--------------------|
| 東大(IOG) 市区町村契約型 | 柏市、西東京市 杉並区、神戸市 福井県、金沢市 | 【データ電子化推進】 | なし | ADサポーター |
| 東大(IOG) 都道府県 | 神奈川県(3市) * 神奈川県(8市) | * 調整・交渉窓口 【データ電子化推進】 | * 支援サポーター | ADトレーナー ADサポーター |
| 東大(IOG) 市区町村 | 飯塚市、紀の川市 岐阜県、その他 | * 資材類の供給 * シニアFT派遣斡旋 【データ電子化推進】 | (支援サポーター) (AD参加) | ADサポーター |

| 地域 | 参加パターン | 都道府県例 | 役割 | 課題 |
|--------------|---------|--|--------------------------------|-----------------------|
| 【協議会】 | 組織・AD参加 | 神奈川県、東京都、福岡県 山梨県、神戸市 新潟市、岡山市、和歌山県 千葉県 | 支援FT, FS 資材提供 【データ電子化推進】 | ・AD候補者選定 ・市町村連携可能性 |
| 【協議会(形骸化、無)】 | AD個人参加 | 西東京市、 岐阜県、他 | なし FS、資材 | ・ |
| 協議会、ADとも無 | なし | 境港市、金沢市、鹿角市 | 資材提供 | ・財団の直接取引 |

* 自治体のフレイルチェック導入プロセス（現在）



* 第2分科会プログラム (70分)

| 発表者 | タイトル | ポイント | 時間 |
|----------------------------------|--|-------------------------------------|-----|
| (座長 松浦 隆志) 財団フレイル予防企画 チーム長 | 分科会の主旨説明 フレイルチェック導入図 | フレイルチェック 導入プロセスの理解 と財団+協議会の役割 | 10分 |
| 神谷 哲朗氏 東京大学IOG特任研究員 | フレイル予防啓発・研修 フレイルデータ電子化事業 | 啓発・研修の実情把握 将来構想の紹介 | 10分 |
| 村上 政司氏 神奈川健生副会長 | 神奈川健生フレイル支援 サポーター派遣事業! | 市町村でのA D支援サ ポーター活動事例 | 7分 |
| 渡邊 一栄氏 健生北海道会長 | 健生北海道開催のフレイル勉強 会及び次の展開へ! | 自主勉強会の事例紹介 | 7分 |
| 栗尾 銭次郎氏 徳島健生会長 | 「健生とくしま」フレイル予防 の取組状況と今後の方向性! | 飯島教授講演会開催 の活動事例紹介 | 7分 |
| 沢登 京子氏 山梨健生会長 | 「笛吹市」フレイル予防実施へ の取組～山梨県全域への展開策 ～! | 笛吹市フレイル導入の 活動紹介 | 7分 |
| 【ディスカッション】 | * 質疑応答 * 対応方法などの意見交換 | 協議会 + A D 活動 伝道師、F C 参加 | 20分 |

* フレイル予防推進における当面の重点事項

【フレイル予防総合資料集作成（飯島教授監修）】

- ・ フレイル予防ハンドブック類（既存資料）
- ・ **フレイルチェック導入ガイド（作成中）**
- ・ フレイルチェック器機類・資材類供給見積書（既存資料）
- ・ **フレイルチェックデータ電子化資料（説明書、サンプル等）**
- ・ **業務委託契約・見積書等（支援トレーナー派遣、電子化など）**

⇒ 目標：平成30年度末（IOG側と連携作業中）* 31年度より使用

【全国導入予定市町村への対応（平成30年～31年）】

- ・ 対象地域の協議会&ADと協議（支援型FTFS養成基礎研修）
- ・ パターン別の対応実績づくり（将来のフレイル事業モデルへ）
- ・ フレイルチェック導入先へのデータ電子化推進（事業収入の確保）
- ・ フレイル予防推進ネットワーク（**財団** + 協議会 + AD + IOG）

⇒ MLによる情報交換、財団HP（FC掲載）、東大IOG情報活用